



- 高温で焼成される陶磁器の釉薬に混ぜても効果を発揮できるように特別に調整された抗菌剤です。(従来の抗菌剤は800度以上になる高温焼成には利用できません。)
- 従来にない強力で永久的な自己除菌作用を持った衛生的な陶磁器を作ることができます。
- 低温焼成と高温焼成の2タイプがあり、さまざまな陶磁器に適用できます。

● 特徴 Feature

- 1) 優れた抗菌性
- 2) 銀ナノ粒子は非溶出型の抗菌剤で、極めて安全です。
- 3) 抗菌力が低下することはありません。
- 4) 変色や脱色などは生じません。

● 抗菌性能 Antibacterial effect

試験菌株: ブドウ球菌 ATCC 6538P
 試験方法: JIS Z 2801(フィルム密着法)

植菌数	2.1 x 10
未処理タイル	4.0 x 10
抗菌処理タイル	1.3 x 10
抗菌活性値※	2.5

※抗菌活性値で2.0以上は抗菌性能あり。

● 適用例 Applications

- 1) 陶磁器の食器
- 2) 便器
- 3) 食品工場や病院のタイル



● 仕様 Specifications

	高温焼成用 GWH-22000M	低温焼成用 GWL-22000M	高温焼成用 GPH-50000P
品番	GWH-22000M	GWL-22000M	GPH-50000P
基材	水	水	粉末
外観	茶褐色	茶褐色	白色
主な成分	水、銀、分散剤	水、銀、分散剤	TiO ₂ 、銀
銀ナノ粒子の配合率	22,000 ppm	22,000 ppm	50,000 ppm
平均粒子径	5 nm以下	5 nm以下	4~20nm
pH	中性	中性	—
添加量 ※	釉薬の5%分を添加	釉薬の5%分を添加	3%
焼成温度	800~1400℃	700~800℃	700~1400℃

※ 釉薬の調合や製造環境によって、添加量や添加時期、攪拌方法等は最適化が必要です。